

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2272300738		
法人名	医療法人財団百葉の会		
事業所名	グループホームわたしの家 1階		
所在地	静岡県富士市大淵352-2		
自己評価作成日	平成29年7月31日	評価結果市町村受理日	平成30年2月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kami=true&amp;jigyouCd=2272300738-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kami=true&amp;jigyouCd=2272300738-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成29年8月9日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

お一人おひとりが主役になれるよう、お客様の希望を叶えるような企画の提案を実施しています。その様子は、ご家族様へ写真と共に毎月お便りとしてお伝えしております。ご家族様にも喜んでいただいております。また、「お客様写真館」としてお客様の様子を写真にとり掲示しております。ご自分の写真をごらんになり、「にっこり」されるお客様も多いです。年間計画として、お客様とご家族、職員、地域の方、ボランティアの方がたと一緒に過ごす企画を立てております。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

昨年10月に新しい管理者を迎え、前進したことが幾つかあります。その一つが「絆委員会」の立ち上げです。「家族に来て、来て」との想いを形にし、春はいちご狩り、夏はバーベキューと流しソーメン、秋は敬老会、冬はクリスマス会を家族とともに愉しむと決め、現在夏の実施まで終えています。息子さんが洩らした一言に職員が感激したり、家族も事業所に対する気持ちが「気安くなった」と喜ばれています。さらに和室をフローリングにして相談室として一新させ、また残食が多いことも着任時目についたことで、業者を変更しました。冷凍食品からフレッシュなものに替えたことで完食が増え、健康維持にもつながっています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関入口付近に理念の掲示を行っています。	昨年10月に交替した管理者が理念とその実践については職員に教えられたというほど、職員で共有されています。また行動制限をしないことは当たり前のこととし、戸外を散歩しないと落ち着かない症状をもつ利用者に1日付添って歩く職員の姿にも浸透の深さが覗えます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域「いきいきサロン」「つぼみの会」への参加をおこなっています。	民家から離れた場所ですが、中・高校生のサマーショートボランティアを受け入れたり、日常的にも自立歩行できる利用者は「いきいきサロン(高齢者の集い)」や「つぼみの会(歌声サロン)」に月1回程度でかけており、このような地域とのつながりは6年ほど続いています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	学生ボランティアの福祉体験の受け入れをおこなっている。地域行事へ「認知症サポーター」として参加しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を行えている。会議内容は、職員全体会議にて伝えていきます。	家族参加が無いため、歌のボランティアで来訪の家族に合せての日程とし、隔月開催できています。事業所からも投げかけていますが家族の自発的な意見もあって、職員の身だしなみや食事提供の方法等、改善だけでなく気持ちを通ずる効用も確認され運営に役立っています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月に1度運営推進会議を行えている。介護保険課職員の方の参加がある。相談等があればその都度連絡するようにしています。	地域包括支援センター職員に声をかけてもらい、センター主宰の認知症サポーター養成講座の手伝いを介護支援専門員がおこなっていて、小学校の先生も交えて寸劇の脚本や企画まで関わっています。また地域ケア会議や集団指導には必ず出席しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中、外に出て行かれるお客様がいるが、施錠等はなく、職員が寄り添いながら対応している。夜間に外へ出れ行かれるお客様には、時間帯をお伝えし、お話を伺い、本人が安心する言葉がけをしている。	本件については法人の年間研修に組み込まれるほか、外部の研修会への参加にも余念がありません。朝早いときには8時から外へ出る利用者の症状は3年続き、道すがら職員が担当交替したり、上着を脱いで別人となり接したりと、真摯なケアを以て本人の安寧に結ばれています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様の全身チェックを入浴時におこなっている。職員の目のつくところに掲示しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会の計画を立てています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定時等書面にて連絡し、内容については時間をいただき説明を行っている。疑問点等あれば、その都度説明している。その後の質問等にもご理解いただけるよう説明しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の要望等には素早く対応している。検討が必要な時にはその旨説明しています。	「家族に来て、来て」との想いを「絆委員会」という形として、春はいちご狩り、夏はバーベキューと流しソーメン、秋は敬老会、冬はクリスマス会を家族とともに愉しむと決め、現在夏の実施まで終えており、息子さんの言葉に職員が感激したり、家族も気安くなったと喜ばれています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、運営会議、職員全体会議を行い、職員に意見、提案を聞き、反映しています。	会議前にはノートを介して職員に議題を募り、会議のレジュメ作成では全員発言するように仕組みをつくっています。さらに委員、係を皆がもつことから万遍なく意見が挙がり、いちご狩りに同行できない利用者には「UCHI(家)カフェ」と称する企画をプラスする粋なアイデアもでています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の面談、個人目標について見直し、評価を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修参加の促し、参加が出来るよう調整を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会に参加。他事業所とのGH交流会の企画を立て、交流を深め、意見交換等も行い、サービスの向上へと努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人及びご家族様と面談し、生活状況の把握を行い、要望等をお聞きし、安心して過ごして頂けるよう配慮をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様には、要望等いつでもご相談いただけるよう、関係づくりを行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状況等をご家族に相談し、ご家族との情報共有を行いながら支援の見極めを行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様同士の席の配慮の実施を行っている。職員とも馴染みの関係となるよう、お客様と一緒に目線を合わせ、関係づくりを行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	担当職員が毎月お便りを発行し、日々の様子を写真や言葉で伝えている。家族面会時には、その時の内容を家族に伝えています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や知人、遠距離に住まれる兄弟等の電話等のやりとりが行えるよう支援を行っています。	いちご狩りには6組、流しソーメンは4組と家族が訪れ、「何かないとなかなか来れないし」「企画してくれるのは嬉しい」との言葉が届いています。また「お客様写真館」も本年から始まり、管理者の恩師が利用者というご縁からイベントには同級生が集まったこともあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席の配慮や企画行事等、1. 2階のお客様が交流し関わりが持てるよう配慮しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前は退去されたご家族等が、来設して下さったが、現在は、そのような方がいない。もし今後、そのような方が来設して頂ける機会があれば対応していきたい。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や思いを伝えられないお客様には、ご家族に伺いながら、サービスの提供へ繋げている。伝えられるお客様には、その都度、計画的に企画等で反映しています。	キッチンに「好き、嫌い」を掲示したり、介護計画書に「スタバに6ヶ月の間に必ず行く」とあったりと、一人ひとりの好みや要望が実現できるよう諸所配慮がみられます。吹奏楽部の顧問であったことが後に解って、家族協力でキーボードを購入してもらって此处での日課となっています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご家族へ聞き取り調査(アセスメント)を行い職員へ繋げている。経過については、ケアマネより聞き把握しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録やアセスメント、バイタルチェック等で現状把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面談時にご家族様より希望を伺う。答えられることが出来る方には、本人へ伺っています。。	介護計画書にあるサービス内容欄では、時系列の変化が細かく記されていることに先ずは驚き、カンファレンス実施記録では職員間の協議が密で「チームでつくる～」に合致しており、職員意見と現状を把握する仕掛けができていることを書面確認しました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録や申し送り等に気付いた事等を記録し、職員間で状況共有を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急変時等、ご家族へ連絡し、柔軟な対応を行っています。(他医院の職員同行など)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の「いきいきサロン」「歌声サロン」等への参加。地域児童クラブの児童との交流などつながりを大切にしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、ご家族や本人の同意を得て訪問診療を受けている。通常より変化あった場合は、ご家族に連絡、報告しています。	目の前に協力医がある安心につつまれ、内科の定期受診は月2回の訪問診療が常です。泌尿器科と脳神経外科の通院については家族に付き添ってもらい、その際には日常の記録を持参したうえで、戻ってきたときには口頭で報告を受けています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録シートにて日常の様子や、相談を記録し、2週間に1度訪問看護師に見て頂く。日勤リーダーが対応し職員へ伝達を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様に体調変化がある際は、随時かかりつけ医に相談、指示を仰ぐ。入院時には入院先へ職員見舞いにいき、看護師や相談員と連絡や情報収集を行い早期退院へ繋げている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医よりご家族へ、管理者・職員同席のもと話し合いを行い、終末期の方針を決め、看取りプラン作成を行っています。	契約では看取りをおこなうとして家族に説明していますが、目前に病院があるためか移設を望むケースは少なくなく、実績はさほどありません。ただし、勤務歴の長い職員が何名かおり看取り経験者はおおり、また入院では職員だけでなく他の利用者もお見舞いにてかけ、訪ねています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応について、マニュアルを活用して実践しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害訓練の実施等は出来ている。地域との連携は課題となります。	「安否コールは年6回やりなさい」と法人指示があり、通報訓練、夜間想定、総合訓練を順次おこない、また県から「水害訓練を12月までに」と指導を受けていることから、8月に実施を予定しています。地域との防災連携はできていませんが、隣近所である母体病院を頼りとしています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様のプライバシー、羞恥心等を考慮し、声掛け、見守り等に配慮しています。	入室には「失礼します」と声をかけ、呼称は「～ちゃん」は禁止ですが名字でも名前でもどちらでも本人の望む形でなっています。性格やこだわりについての理解では、ベテランが十分把握していることから見て覚える伝承方式が定着しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常的なにげない会話からお客様の思いや希望をくみ取れる様、コミュニケーションを常にとっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様のペースに合わせ、職員も同様に、お客様と関われる様に努めている。入浴希望等、お客様の声を大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の天候や、気分に合わせて洋服選びを配慮している。美容師が施設を訪問してくださる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	企画や行事食を考案している。目で見た、舌で味わう楽しみに繋げられるよう考えている。食器等の配慮も行っている。	主菜に副菜2品がついた献立は業者が食材とともにメニューを搬入しています。職員が間に入り同じものを食し、食後は話材を提供するとともに「お母様方に手伝っていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします」と冗談めいて片付けを依頼して笑いを誘っていました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は申し送りにて伝えている。食事量、水分量が低下など、早期に気付き、主治医へ相談し対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の航空ケアを行っている。洗口液、ガーゼ等の使用にて口腔清拭を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お客様の排泄パターンを知り、本人の要望に合わせた対応を行っている。オムツ使用のお客様にも、日中、夜間と使い分けを行っています。	ベッド上のオムツ交換という人はいませんが、一人でトイレに入出入りする人は2名ほどで、大半が何らかの支援が必要です。リハパンなどがイヤで布パンツ使用の人には職員が何気なく観察したり、2時間毎に声をかけて失敗しないよう気配りする例もあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	カスピ海ヨーグルトドリンクの提供を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	お客様の希望に添える様、希望時に入浴をして頂いています。	週2回を下限の目安として入りたい希望がある人は毎日ということもあり、全員が浴槽をまたぐことができ湯に浸かる喜びを味わっているほか、医師の指導もあって足浴も併せて取り組んでいます。季節に応じて職員がオブジェを替えていて、今月は造花のひまわりが微笑んでいました。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状況に合わせて休息への対応を行っている。入眠時には、各自の適温に配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のファイル保管を行っている。変更時等は、申し送りノートにて注意点などの伝達を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各自のご希望に沿うように努めています。家事手伝いを各自が役割を持ってお手伝いして頂いています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	外出企画をご家族にも参加していただけるようお声掛けしています。	散歩は好天ならでかけていて、特に病院の各所への巡回は一つの散策コースと成っています。車輛は日曜日なら系列のデイサービスから借り受けることが可能ですが、一部の利用者のADLを考慮するとあきらめざるを得ないという判断に至っています。	



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	隣接病院の売店にて、飴玉を購入されるお客様がおられます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやりとりは、お客様より手紙の投函依頼を受け職員が対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁面に「お客様、写真館」としてイベント写真の掲示を行っている。季節感の味わえる室内飾りを行っている。	高い場所の電球交換などもあるため男性職員に設備・修繕係を任命し、蛍光灯の交換やエアコンの掃除に活躍してもらっています。フロアのモップがけは毎日おこない清潔を保つとともに、和室をフローリングにして相談室として一新させるチャレンジもあります。	トイレの換気扇をはじめ、普段気づかないエリアについては四半期毎、半年毎などとして清掃場所に組み込むことを期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設内外にベンチやソファを置いてあり、お仲間や、職員と楽しいおしゃべりに花を咲かせる事があります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用している馴染みのもの持参、持込みをご依頼しています。	カラオケが大好きで、美容師だったことから着付けもできるという利用者の部屋には、着物でメイクをもつ様子が額に収まっていて、ぬいぐるみや花のリースが飾られて好みのものが持ち込まれていることを視認しました。	テーブルの上や棧、部屋の四隅の角など、清掃で見落とししている箇所への改善を期待します。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様が、自立した生活が送れる様、動線に物を置かないなどの配慮を行い、安全な生活が送れるよう努めています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2272300738		
法人名	医療法人財団百葉の会		
事業所名	グループホームわたしの家 2階		
所在地	静岡県富士市大淵352-2		
自己評価作成日	平成29年7月31日	評価結果市町村受理日	平成30年2月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2272300738-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2272300738-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成29年8月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お一人おひとりが主役になれるよう、お客様の希望を叶えるような企画の提案を実施しています。その様子は、ご家族様へ写真と共に毎月お便りとしてお伝えしております。ご家族様にも喜んでいただいています。また、「お客様写真館」としてお客様の様子を写真に撮り掲示しております。ご自分の写真をご覧になり、「にっこり」されるお客様も多いです。年間計画として、お客様とご家族、地域の方、ボランティアの方々と一緒に過ごす企画を立てております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年10月に新しい管理者を迎え、前進したことが幾つかあります。その一つが「絆委員会」の立ち上げです。「家族に来て、来て」との想いを形にし、春はいちご狩り、夏はバーベキューと流しソーメン、秋は敬老会、冬はクリスマス会を家族とともに楽しむと決め、現在夏の実施まで終えています。息子さんが洩らした一言に職員が感激したり、家族も事業所に対する気持ちが「気安くなった」と喜ばれています。さらに和室をフローリングにして相談室として一新させ、また残食が多いことも着任時目についたことで、業者を変更しました。冷凍食品からフレッシュなものに替えたことで完食が増え、健康維持にもつながっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関入口付近に理念の掲示を行っています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域「いきいきサロン」「つぼみの会」への参加をおこなっています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	学生ボランティアの福祉体験の受け入れをおこなっている。地域行事へ「認知症サポーター」として参加しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を行えている。会議内容は、職員全体会議にて伝えています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月に1度運営推進会議を行えている。介護保険課職員の方の参加がある。相談等があればその都度連絡するようにしています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中、外に出て行かれるお客様がいるが、施錠等はなく、職員が寄り添いながら対応している。夜間に外へ出れ行かれるお客様には、時間帯をお伝えし、お話を伺い、本人が安心する言葉がけをしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様の全身チェックを入浴時におこなっている。職員の目のつくところに掲示しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会の計画を立てています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定時等書面にて連絡し、内容については時間をいただき説明を行っている。疑問点等あれば、その都度説明している。その後の質問等にもご理解いただけるよう説明しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の要望等には素早く対応している。検討が必要な時にはその旨説明しています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、運営会議、職員全体会議を行い、職員に意見、提案を聞き、反映しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の面談、個人目標について見直し、評価を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修参加の促し、参加が出来るよう調整を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会に参加。他事業所とのGH交流会の企画を立て、交流を深め、意見交換等も行い、サービスの向上へと努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人及びご家族様と面談し、生活状況の把握を行い、要望等をお聞きし、安心して過ごして頂けるよう配慮をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様には、要望等いつでもご相談いただけるよう、関係づくりを行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状況等をご家族に相談し、ご家族との情報共有を行いながら支援の見極めを行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様同士の席の配慮の実施を行っている。職員とも馴染みの関係となるよう、お客様と一緒に目線を合わせ、関係づくりを行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	担当職員が毎月お便りを発行し、日々の様子を写真や言葉で伝えている。家族面会時には、その時の内容を家族に伝えています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や知人、遠距離に住まれる兄弟等の電話等のやりとりが行えるよう支援を行っています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席の配慮や企画行事等、1.2階のお客様が交流し関わりが持てるよう配慮しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前は退去されたご家族等が、来設して下さったが、現在は、そのような方がいない。もし今後、そのような方が来設して頂ける機会があれば対応していきたいです。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や思いを伝えられないお客様には、ご家族に伺いながら、サービスの提供へ繋げている。伝えられるお客様には、その都度、計画者が企画等で反映しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	住居時ご家族へ聞き取り調査(アセスメント)を行い職員へ繋げている。経過については、ケアマネより聞き把握しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録やアセスメント、バイタルチェック等で現状把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面談時にご家族様より希望を伺う。答えられることが出来る方には、本人へ伺っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録や申し送り等に気付いた事等を記録し、職員間で状況共有を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急変時等、ご家族へ連絡し、柔軟な対応を行っています。(他医院の職員同行など)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の「いきいきサロン」「歌声サロン」等への参加。地域児童クラブの児童との交流などつながりを大切にしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、ご家族や本人の同意を得て訪問診療を受けている。通常より変化あった場合等は、ご家族に連絡、報告しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録シートにて日常の様子や、相談を記録し、2週間に1度訪問看護師に見て頂く。日勤リーダーが対応し職員へ伝達を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様に体調変化がある際は、随時かかりつけ医に相談、指示を仰ぐ。入院時には入院先へ職員見舞いにいき、看護師や相談員と連絡や情報収集を行い早期退院へ繋がっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医よりご家族へ、管理者・職員同席のもと話し合いを行い、終末期の方針を決め、看取りプラン作成を行っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応について、マニュアルを活用して実践しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害訓練の実施等は出来ている。地域との連携は今後の課題となります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様のプライバシー、羞恥心等を考慮し、声掛け、見守り等に配慮しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常のなにげない会話からお客様の思いや希望をくみ取れる様、コミュニケーションを常にとっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様のペースに合わせ、職員も同様に、お客様と関われる様に努めている。入浴希望等、お客様の声を大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の天候や、気分に合わせて洋服選びを配慮している。美容師が施設を訪問してくださっています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	企画や行事食を考案している。目で見た、舌で味わう楽しみに繋げられるよう考えている。食器等の配慮も行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は申し送りにて伝えている。食事量、水分量が低下など、早期に気付き、主治医へ相談し対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の航空ケアを行っている。洗口液、ガーゼ等の使用にて口腔清拭を行っています。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お客様の排泄パターンを知り、本人の要望に合わせた対応を行っている。オムツ使用のお客様にも、日中、夜間と使い分けを行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	カスピ海ヨーグルトドリンクの提供を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	お客様の希望に添える様、希望時に入浴して頂いています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状況に合わせて休息への対応を行っている。入眠時には、各自の適温に配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のファイル保管を行っている。変更時等は、申し送りノートにて注意点などの伝達を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各自のご希望に沿うように努めています。家事手伝いを各自が役割を持ってお手伝いして頂いています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	外出企画をご家族にも参加していただけるようお声掛けしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	隣接病院の売店にて、飴玉を購入されるお客様がおられます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやりとりは、お客様より手紙の投函依頼を受け職員が対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内外にベンチやソファを置いてあり、お仲間や、職員と楽しいおしゃべりに花を咲かす事があります。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居時に自宅で使用している馴染みのもの持参、持込みをご依頼しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用している馴染みのもの持参、持込みをご依頼しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様が、自立した生活が送れる様、動線に物を置かないなどの配慮を行い、安全な生活が送れるよう努めています。		